5月19日
火曜日
1970年(昭和45年)
号外
定価2円

祖国と学問のために

昭和43年7月13日第三種郵便物認可　昭和43年3月23日国鉄東局特別扱承認新聞紙第5255号

編集発行所
全学連
中央執行委員会
東京都千代田区三崎町3の6の8原島第一ビル
電話(264)8611(代表)
発行人　熊尾康成

侵略に怒りをこめて反撃を

5.22—23全国学生統一行動に決起せよ

アメリカのカンボジア侵略糾弾！佐藤内閣の侵略加担を許すな！大学民主化、要求実現！

全国の学友諸君

アメリカの公然たるカンボジア侵略、ベトナム侵略戦争のインドシナ全域への拡大に抗議し、全世界の人民、学生が次々とたちあがっている。アメリカでは、州兵によってケント大学の四学生が射殺されるなど弾圧の嵐がふきあれるなかで、すでに三百数十の大学がストライキに突入し、十日には十万のデモがホワイトハウス前をうずめた。フランス、イギリス、イタリア、オーストラリア、スエーデン、インドなど、怒りの集会デモは文字通り全世界をつつんでいる。

全学連は、六日、東京でいちはやく緊急抗議行動を千二百名の学友の参加でたたかったのを皮きりに、七日京都七〇〇名、八日愛知一三〇〇名のデモなど全国的に抗議行動を戦闘的に展開している。九日には労働者、市民二万名とともに二千五百名の学友の参加で中央抗議集会を開き、アメリカ大使館、首相官邸への怒りのデモを敢行した。

今や、正義と真実を愛する者の、平和を願う者の、誰れもが、アメリカの、平和に対する新たな重大な挑戦に断固として反撃するときである。全国の学友は自らの行動をもって、アメリカのカンボジア侵略を満身の怒りをこめて糾弾する必要がある。インドシナ人民の、独立、平和、中立を求める正義のたたかいとともに、全世界人民の、われわれの、一人一人がたちにたちあがることこそが、残虐なアメリカの侵略を粉砕し、アジアに平和をとりもどす力となるのである。

日米共同声明の具体化を許すな

学友諸君

さらにわれわれは、佐藤内閣がアメリカのインドシナ侵略に積極的に加担し、その共犯者となってないることをだまって見すごすことはできない。佐藤内閣は、沖縄を含む日本全土をアメリカの侵略基地として提供しているのみか、自らもカンボジアに対する介入にのりだしている。これこそ、日米共同声明の具体化であり、七〇年代に「アジアの安定に主役を果す」という佐藤首相の言葉のもつ危険な本質を明らかにしたものである。佐藤内閣のカンボジアへの介入は、日本の軍国主義復活、強化、七〇年代安保体制確立に大きく道を開くものとなろうとしている。

われわれは、佐藤内閣のおしすすめようとしている侵略と戦争の道を断固として拒否し、アジアの人民と、友として、平和と社会進歩のため手をたずさえて進もうではないか。

今こそ、佐藤内閣の侵略加担に強く抗議するとともに、核も基地もない沖縄をとりもどし、安保条約を廃棄する、平和、中立の日本をめざすたたかいを一層強化しなければならない。

大学民主化を全国的闘争で

全国の学友諸君

全国の大学では今、管理運営の民主化、学生の自治権拡大、勉学、生活条件改善のための要求実現をめざすたたかいが一斉にまきおこっている。

全国のたたかいの経験は、大学民主化、要求実現をかちとるために、今、文部省の大学への介入、統制を排除し、大学予算の大幅増額をかちとるたたかいを強力に発展させることがきわめて重要になっていることを教えている。

昨年大学弾圧法案を強行「成立」させた佐藤内閣は、大学を日米共同声明にもとづく侵略と軍国主義復活の路線に全面的に照応したものに再編成しようとしている。このため今月中にも政府の御用機関中教審に答申を出させようとしている。

全国の大学で大学の民主化、要求実現をめざすたたかいを全学ぐるみの大闘争に発展させることを基礎に、このたたかいを全国的に大きく合流させ政府、文部省に対決する全国的な統一したたかいへと発展させようではないか。

われわれの全国的に連帯したたたかいは、大学の反動的再編を阻止し、日本軍国主義の復活に深部から打撃を与えていくたたかいとなるであろう。大学民主化と安保廃棄のたたかいは、まさに一本の糸でしっかりと結びついているのだ。

統一戦線実現の先頭に

全国の学友諸君

アメリカの公然たるカンボジアの侵略の開始という重大な情勢のもとで、全ての民主的政党労働組合、民主団体の共同闘争を実現することは、緊急の課題である。しかも、安保廃棄、沖縄全面返還を実現し、大学の民主的発展をかちとっていくためには一日だけの共闘闘争だけでは決定的に不十分である。全民主勢力が持続的な共闘＝統一戦線を組織しなければならない。

最近の京都府知事選挙で社会・共産両党・労働組合など三〇〇〇団体以上が団結して圧倒的な勝利をかちとった経験は、統一戦線の威力をはっきりと示した。

全国の学友は、七〇年代の勝利の保障となる統一戦線の実現めざし、行動力と情熱をかたむけて奮闘しなければならない。

統一戦線の実現が急務となっているまさにこの時、「全共闘」、「革マル」などは、公然と「社・共ブロック粉砕」「自治会ナンセンス」を主張し、全国の大学で意見の異なる学友に残忍なテロルを加え、街頭での妄動をくりかえしている。

彼らの行動は、権力の、大学の自治を破壊し、民主運動の弾圧体制を強化する攻撃をひき出している。だからこそ、政府は彼らを「泳がせ」ているのだ。

全国百六〇万学生の団結と統一戦線実現のためには「全共闘」「革マル」の策動を断固として粉砕しなければならない。

5・22〜23統一行動の圧倒的成功で6・23全国一斉ストを準備しよう！

全国の学友諸君

アメリカのカンボジア侵略糾弾、佐藤内閣の侵略加担抗議、大学民主化、要求実現のための全国民的な闘争、生活条件改善のための要求実現をめざすたたかいが一斉にまきおこっている。

全国のたたかいの経験は、大学民主化、要求実現をかちとるために、今、文部省の大学への介入、統制を排除し、大学予算の大幅増額をかちとるたたかいを強力に発展させることがきわめて重要になっていることを教えている。

昨年大学弾圧法案を強行「成立」させた佐藤内閣は、大学を日米共同声明にもとづく侵略と軍国主義復活の路線に全面的に照応したものに再編成しようとしている。このため今月中にも政府の御用機関中教審に答申を出させようとしている。

全国の大学で大学の民主化、要求実現をめざすたたかいを全学ぐるみの大闘争に発展させることを基礎に、このたたかいを全国的に大きく合流させ政府、文部省に対決する全国的な統一したたかいへと発展させようではないか。

われわれの全国的に連帯したたたかいは、大学の反動的再編を阻止し、日本軍国主義の復活に深部から打撃を与えていくたたかいとなるであろう。大学民主化と安保廃棄のたたかいは、まさに一本の糸でしっかりと結びついているのだ。

統一戦線実現の先頭に

全国の学友諸君

アメリカの公然たるカンボジアの侵略の開始という重大な情勢のもとで、全ての民主的政党労働組合、民主団体の共同闘争を実現することは、緊急の課題である。しかも、安保廃棄、沖縄全面返還を実現し、大学の民主的発展をかちとっていくためには一日だけの共闘闘争だけでは決定的に不十分である。全民主勢力が持続的な共闘＝統一戦線を組織しなければならない。

最近の京都府知事選挙で社会・共産両党・労働組合など三〇〇〇団体以上が団結して圧倒的な勝利をかちとった経験は、統一戦線の威力をはっきりと示した。

全国の学友は、七〇年代の勝利の保障となる統一戦線の実現めざし、行動力と情熱をかたむけて奮闘しなければならない。

統一戦線の実現が急務となっているまさにこの時、「全共闘」、「革マル」などは、公然と「社・共ブロック粉砕」「自治会ナンセンス」を主張し、全国の大学で意見の異なる学友に残忍なテロルを加え、街頭での妄動をくりかえしている。

彼らの行動は、権力の、大学の自治を破壊し、民主運動の弾圧体制を強化する攻撃をひき出している。だからこそ、政府は彼らを「泳がせ」ているのだ。

全国百六〇万学生の団結と統一戦線実現のためには「全共闘」「革マル」の策動を断固として粉砕しなければならない。

すべての学友が、当面する五・二二—二三全国学生統一行動に全力をあげて参加しようではないか。五・二二—二三統一行動の圧倒的成功に全国民的な規模でたたかわれようとしている六・二三大統一行動の歴史的高揚を準備するものとなる。

六月二十二日、安保条約の固定期限は終了し二三日以後、日本政府が一方的にアメリカに終了通告を行いさえすれば、日本の人民、学生は現実に安保条約を廃棄できるという歴史的な時期に移行する。この七〇年代に日本の人民、学生は、統一戦線を実現し、この力で自民党の支配をうちたおし、終了通告を行いうる民主的な政府をつくっていかねばならない。民主的政府の実現は、平和、中立の日本と大学の民主化をめざす闘いの勝利へ、急速に道を開くものとなるだろう。

七〇年代闘争の勝利的前進をめざすうえで、六・二三統一行動を文字通り全国民的なたたかいとして実現し、その歴史的なたたかいの第一歩をふみだす必要がある。

全学連の旗の下、全国の学生は、六月二十三日を全国の大学で、一斉ストライキをもってたたかいぬこうではないか。

六・二三一斉ストの成功めざし、五・二二—二三統一行動に総力をあげて結集せよ！

5・23全国学生統一行動 実施要項

全学連中央執行委員会は、五・二三全国学生統一行動の名称、スローガン、実施要項を左記のとおり発表しました。

■名称

アメリカのカンボジア侵略糾弾、佐藤自民党内閣の侵略加担抗議、大学民主化と要求実現をめざす五・二三全国学生統一行動

■スローガン

◆アメリカのカンボジア侵略糾弾！アメリカはインドシナから出ていけ！◆ロン・ノルの虐殺をゆるすな 英雄的なインドシナ諸国人民の闘争断固支持◆ケント大学四学生の死を忘れるな 全米学生の闘争に連帯を◆佐藤自民党内閣の積極的侵略加担糾弾 戦争と侵略への道「日米共同声明」の実行を許すな 安保条約を廃棄し、中立・平和の日本を◆大学予算を大幅にふやせ 政府・文部省の大学への介入・干渉反対 大学の自治・学問の自由を守ろう◆勉学生活条件を改善せよ 希望者全員の入れる新寮を増設せよ◆教員希望者を全員採用せよ 不当な就職差別をやめよ◆大学の反動的再編をねらう中教審答申粉砕 大学の民主化をかちとろう◆テロ・リンチ、民主主義破壊の「全共闘」一派糾弾

全国の学友は全学連の旗のもと団結してたたかおう◆歴史的な六月二十三日を全国学生一斉ストライキでたたかおう 全人民の団結と統一戦線の実現めざし全学生は先頭にたってたたかいぬこう

■実施要項

以上の名称・スローガンをかかげ全国の学園で総決起する。全学連地方支部所在地、主要都市では二十二日を中心に地方集会、デモ行進を行なう

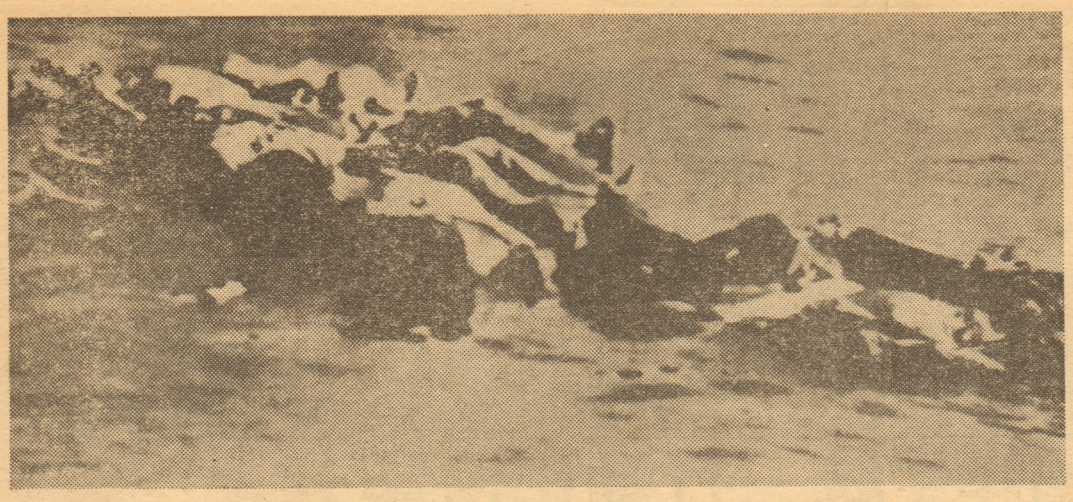
■中央集会

五月二十三日午後二時日比谷野外音楽堂集合、二時半開会、四時半からデモ行進、地方からは闘争の状況に応じて積極的に「文部省への要求」とアメリカ大使館への抗議文をもって代表派遣。◆二部学生は同日夜六時より日比谷野外音楽堂で集会、その後デモ行進。

侵略者アメリカは出てゆけ！インドシナ人民と連帯してたたかおう！

全国でたたかい進む

官憲二学友を不法逮捕（東大教養）



四月十五日メコン川に流れついた死体（JPS）

アメリカのインドシナ侵略に抗議するたたかいが全国各地で進められています。

東大教養学部では五月十五日自治会委員長と十一名の教官の「共同アピール」にもとづきアメリカのカンボジア侵略と愛知外相の国際会議出席に抗議する学内集会がひらかれ、三百名が渋谷まで、デモをおこないました。その後、渋谷駅頭で署名をはじめようとした時学友に、機動隊が突然襲いかかり、二名の学友を不当に逮捕するという暴挙をおこないました。同自治会は、十六日緊急に抗議集会をよびかけ、四百名の学友の参加で成功させ、さらに、千二百名の抗議署名と三万三千円のカンパを短時間に集めきり、百名の代表が、都民二百名とともに、渋谷警察署前で、即時釈放を要求して、すわりこみの抗議を行ないました。再建された東大学生自治会中央委員会ではひき続きクラスを基礎に、たたかいを発展させ、五月三十一日にインドシナ侵略糾弾の全東大集会をひらこうしています。

東京都立大では十三日、カンボジア問題でのシンポジウムを沖縄県学生、朝鮮学生を招いておこない、翌十四日には、八十名でアメリカ大使館に抗議デモをおこないました。そのほか東京女子大、東京農大、早大、日本女子大、東京三多摩学協など全都的に集会・宣伝行動が展開されています。

また、地方でも京都府学連、愛知県学連、大阪府学連がそれぞれ緊急抗議行動をおこなったのをはじめ、各大学が宣伝・行動に立ちあがっています。

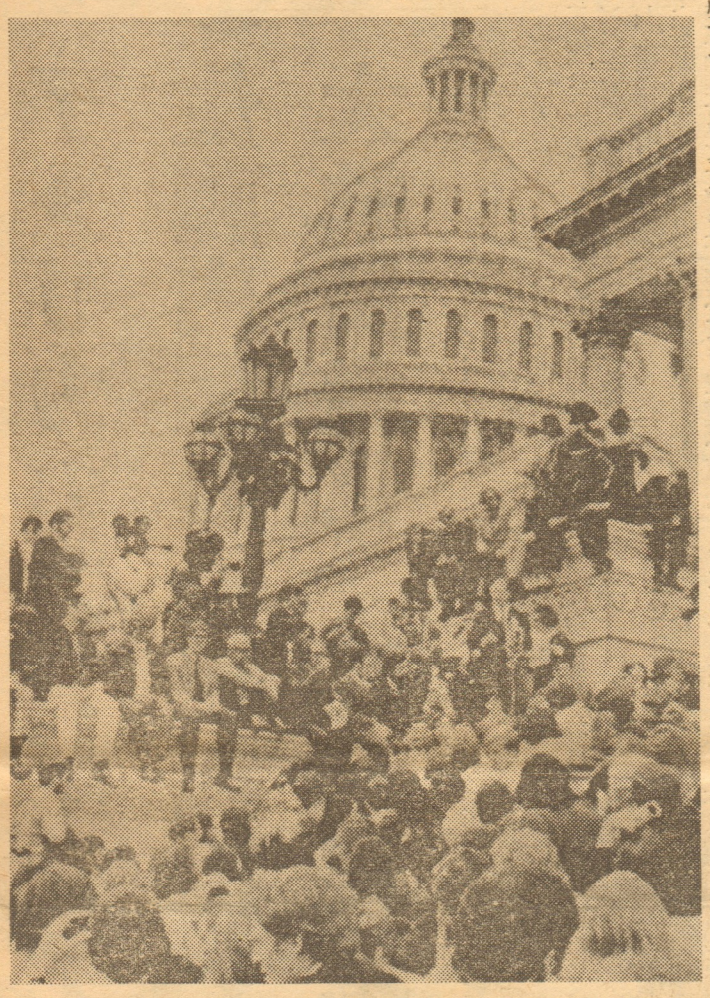
一方、「中教審答申」を前にして、政府の反動的、大学再編の攻撃に対決し、大学民主化と要求実現のたたかいも力づよく進められています。

静岡大学では食堂の拡充を要求して、千五百名の団交がもたれるなど、全学をあげてたたかいが進められています。相模女子大では当局の一方的な学費値上げに抗議してたたかうなかでこれを阻止しました。

東京商船大学では、大学当局が入試の際一学友を不当に不合格にしたことに抗議し、無期限ストライキでたたかい、全学団交をひらいてこれを撤回させました。そのほか農大の応援団問題、早大の総長選挙民主化をはじめ全国各地の大学で、大学運営の民主化、学生自治権の拡大、勉学、生活条件の改善、教員希望者全員採用をめざすたたかい、新寮実現などのたたかいがくりひろげられています。

全学連は、五月十八日「政府文部省に対する全国学生の当面の要求」を発表し政府・文部省が、全学連と交渉することを要求しています。

こうしたたたかいの中で、全国の大学で、「アメリカのカンボジア侵略糾弾、佐藤内閣の侵略加担抗議、大学民主化、要求実現五・二二一三全国学生統一行動」にむけての準備をすすめています。また五月三十日から神奈川で開催される「第四回青年学生大集会」にむけて、各大学で代表派遣の運動も強められてきています。当面の闘争を断固としておしすすめながら、安保条約の固定期限が終了する六月二十三日には、全国一斉ストライキでたちあがり、国民の先頭にたってたたかおうという決意も固められつつあります。



ホワイトハウスにおしかけ抗議する学生（UPIサン一共同）

自治会選挙結果

全学連各地で圧勝

あらたに八自治会民主化

関西大二部では、五月四日、自治委員選挙で全学連を支持する学友が二十六対十四で、暴力的に自治会を私物化してきた右翼体育会を破り、民主化。

獣医大一部では、四月二十五日投票の自治会選挙で、「全共闘」を大差で破り民主化。

大阪A大では五月四日、自治会の三役選挙で、「社学同」を破り、民主化。

山形大文理では、五月十一日自治会委員長選挙で公然と自治会解散を主張する中核、MLら「全共闘」一派を五百六対三百六十でうち破り、さらに執行委員十二名中十一名の当選をかちとって民主化。

奈良学大では、正副委員長選挙で「社青同＝解放派」を三百七十一対二百四十五で破り、民主化。

そのほか、千葉大医学部、医科歯科大看学、弘前大医学部が自治会選挙で勝利し民主代をかちとっています。

東大工学部自治会再建

四月十七日、東大工学部では代議員会がひらかれ、自治会が再建されました。委員長選挙では全学連を支持する学友が圧倒的に信任されました。

十八自治会でひき続き勝利

全国で一斉にたたかわれている自治会選挙で次の全学連加盟支持結集自治会ではひき続き全学連を支持する学友が執行部に当選しています。

東大看学、日本女子体育大、北里大、東経大二部、法政短大、信大教養、名城大二法、日福大二部、名市大薬学、名市大医学部、名市大教養、同朋大、弘前大農、弘前大教養、三重県立大医学部、広島大教育東雲分校、東教大体育、静岡大教育の十八自治会。

なお、ひき続き敗北した自治会は全国で三百治会あります。

インドシナ人民主脳会議宣言（抜粋）

一、米帝国主義者たちは過去十五年間にわたり世界制覇の野望を実現するため、またインドシナ人民を搾取するためインドシナ諸国を新しい植民地とし、軍事基地化することをたくらんできた。彼らはあつかましくもカンボジア、ラオス、南ベトナム人民の独立、平和、中立の願望を足下に踏みにじり、ベトナム民主共和国の主権と安全を侵してきた。

一、米帝国主義者たちは重大な敗北にもかかわらず、そのたくらみを捨てず、ニクソンの大統領就任以来、米国はベトナム戦争を長期化し、米国の南ベトナム軍事占領を永続化するためあらゆる努力を払い、ベトナム化を進めた。米国はラオスにおける特殊戦争を強化し、タイの雇兵たちを引入れている。また米国は米国のカネで雇われているロン・ノル＝シリク・マタク一派と共謀して三月十八日、カンボジアでクーデターを起こした。

一、会議は、この歴史的瞬間にインドシナ三国人民が団結を強め、英雄的な不とう不屈の戦いを進め、すべての困難を克服し、米帝国主義者とその手先を打ち負かす堅い決意をもってあらゆる犠牲を引受け、神聖な民族的諸権利を守るよう切望する。また一九五四年と六二年のジュネーブ協定の基本原則を守り、三国人民の熱望と東南アジアと世界の平和にかなうようインドシナを独立した平和な地域にすることを切望する。

一、カンボジア、ラオス、南ベトナムの三代表は、自分たちの戦いの目標が独立、平和、中立　領土内にいかなる外国軍隊と基地の存在を容認しないこといかなる軍事同盟にも加わらず、他国侵略の目的のためいかなる国にも自国領土を使わせないことを宣言する。

一、会談は特に、現在のカンボジア情勢についての懸念を示し、シアヌーク国家元首の呼びかけにこたえ、カンボジア全国で立上がって武装闘争やその他の形の戦いを進めているクメール人民の英雄的闘争に断固とした支持を表明する。

一、各国の解放と防衛は、それぞれの国の人民の事業であるとの原則からして、各代表は関係各当事者の希望に従い、また相互尊重の原則に基づいて全力を尽くして相互支援を行なうことを誓う。

一、各代表は、三国間の友好関係と善隣関係を維持し、発展させていく決意を確認した。三国間の関係については、各代表は主権と領土保全、不可侵の相互尊重、それぞれの国の政体の相互尊重、内政不干渉、平等互恵平和共存の平和五原則を順守することを決意した。

一、各代表は、インドシナに関する五四年ジュネーブ協定の基本原則、カンボジアの現国境内での領土保全、さらにラオスに関する六二年ジュネーブ協定を尊重することを承認した。

大学問題資料集
定価　1200円
知識人・文化論
定価　290円
全学連出版部